

第一展示室 学習シートNo.1：昔の稲作と農具

氏名

1 昔の農作業について、調べよう。

◎春の農作業

雪^{ゆき}解^どけ水^{みず}と堆^{たい}肥^ひを混^まぜた苗^{なわ}代^{しろ}に、芽^め出^だしをした種^{たね}もみ^まを蒔^まいて苗^{なえ}を育^なてる。

そして、馬^{うま}や牛^{うし}を使^{つか}って田^たを耕^がし、水^{みず}と土^{つち}をま^まぜて代^{しろ}掻^かきをし、田^た植^うえの準^{じゅん}備^びをする。最^{さい}後^ごに、苗^{なえ}代^{しろ}から、苗^{なえ}取^とりをし、代^{しろ}掻^かきをした田^たに田^た植^うえをする。

主な作業

- ①堆肥運び ②種まき ③田おこし(耕起) ④代掻き ⑤苗取り ⑥田植え

◎夏の農作業

田^た植^うえを行^いい、苗^{なえ}が育^なち始^はめると草^{くさ}取^とりをする。そして、稲^{いね}の成^{せい}長^{ちやう}に合^あわせ
た追^{つい}肥^ひや、水^{みず}の管^{かん}理^りをして稲^{いね}を育^なてる。また、病^び気^きや害^{がい}虫^{ちゆう}から、稲^{いね}を守^{まも}る。

主な作業

- ①除^{じよ}草^{そう}機^き押^おし ②手^て取^とり除^{じよ}草^{そう} ③追^{つい}肥^ひ ④薬^{やく}剤^{ざい}散^{さん}布^ふ(病^び害^{がい}虫^{ちゆう}予^よ防^{ぼう}) ⑤水^{みず}管^{かん}理^り
⑥畦^{けい}畔^{はん}(あぜ)の草^{くさ}刈^かり

◎秋の農作業

稲^{いね}の穂^ほが黄^こ金^{がね}色^{いろ}になる頃^{ころ}、稲^{いね}刈^かりの準^{じゅん}備^びをはじめる。実^{みの}った稲^{いね}を刈^かり取^とり、
たばにして乾^{かん}燥^{そう}させる。乾^{かん}燥^{そう}した稲^{いね}を脱^{だつ}穀^{こく}し、モミを収^{しゆ}穫^{かく}する。

主な作業

- ①雀^{すずめ}追^おい ②稗^{ひえと}取^とり ③稲^{いね}刈^かり ④稲^{いね}掛^かけ ⑤稲^{いね}上^あげ ⑥脱^{だつ}穀^{こく}
⑦もみすり ⑧たわらづめ

第一展示室 学習シートNo.1：昔の稲作と農具

2 昔の農具について調べよう。

(1) 春の農作業で使われた農具名を【 】に書こう。

	<p>① 堆肥を土にうめる道具。</p>		<p>② 人力で田面（たおもて）をならす。代掻きの仕上げ道具。</p>
<p>【 】</p>	<p>【 】</p>	<p>【 】</p>	<p>【 】</p>
	<p>③ 牛馬にひかせて田面をならす。代掻きの仕上げ道具。</p>		<p>④ 稲の苗をうえる印をつける道具。</p>
<p>【 】</p>	<p>【 】</p>	<p>【 】</p>	<p>【 】</p>

(2) 夏の農作業で使われた農具名を【 】に書こう。

	<p>⑤ 回転する歯車が雑草を土の中に埋め込んで除草する。稲の近くには草が残るため、さらに手作業で除草しなければならなかった。</p>		<p>⑥ 手作業で草を抜いたり、埋めたりする道具。</p>
<p>【 】</p>	<p>【 】</p>	<p>【 】</p>	<p>【 】</p>
	<p>⑦ 草を取るとき、稲や草で顔をきずつけないようにつける。</p>		<p>⑧ 周辺の草を取る時、水でふやけて指先や爪をいためないようにした。</p>
<p>【 】</p>	<p>【 】</p>	<p>【 】</p>	<p>【 】</p>

第一展示室 学習シートNo.1：昔の稲作と農具

(3) 秋の農作業で使われた農具名を【 】に書こう。



⑨ 鉄の刃の間
に稲の穂先を
入れて引き抜
くとモミが落
ちる。脱穀に
使う道具。

【 】



⑩ 下のペダル
をふむと回る。
針金にモミを
引っ掛け、モ
ミを飛ばして
脱穀する。

【 】



⑪ 収穫した
モミをこれで
たたいてわり、
中の玄米を取
り出す（もみ
すり：脱粒）

ための道具。

【 】



⑫ ハンドルを
回すと中に風
が送られて穀
物（米や麦な
ど）のえらび
分けをする道

具。

【 】


○昔の農具を見て、気づいたことを書こう。



第一展示室 学習シートNo.1：昔の稲作と農具

2 昔の農具について調べよう。

(1) 春の農作業で使われた農具名を【 】に書こう。

	<p>① 堆肥を土にうめる道具。</p>		<p>② 人力で田面（たおもて）をならす。代掻きの仕上げ道具。</p>
<p>【 大足（田下駄と呼ぶ地域も有） 】</p>		<p>【 柄振り 】</p>	
	<p>③ 牛馬にひかせて田面をならす。代掻きの仕上げ道具。</p>		<p>④ 稲の苗をうえる印をつける道具。</p>
<p>【 ならし板・代掻き板 】</p>		<p>【 田型・田植え型 】</p>	

(2) 夏の農作業で使われた農具名を【 】に書こう。

	<p>⑤ 回転する歯車が雑草を土の中に埋め込んで除草する。稲の近くには草が残るため、さらに手作業で除草しなければならなかった。</p>		<p>⑥ 手作業で草を抜いたり、埋めたりする道具。</p>
<p>【 除草機 】</p>		<p>【 雁爪（がんづめ） 】</p>	
	<p>⑦ 草を取るとき、稲や草で顔をきずつけないようにつける。</p>		<p>⑧ 周辺の草を取る時、水でふやけて指先や爪をいためないようにした。</p>
<p>【 除草面・草取り面 】</p>		<p>【 除草爪・草取り爪 】</p>	

第一展示室 学習シートNo.1：昔の稲作と農具

(3) 秋の農作業で使われた農具名を【 】に書こう。



⑨ 鉄の刃の間に稲の穂先を入れて引き抜くとモミが落ちる。脱穀に使う道具。

【 千歯扱き 】



⑩ 下のペダルをふむと回る。針金にモミを引っ掛け、モミを飛ばして脱穀する。

【 足踏み脱穀機 】



⑪ 収穫したモミをこれでたたいてわり、中の玄米を取り出す(もみすり：脱粒)

ための道具。

【 朶打ち槌(つち) 】



⑫ ハンドルを回すと中に風が送られて穀物(米や麦など)のえらび分けをする道具。

具。

【 唐箕(とうみ) 】

○昔の農具を見て、気づいたことを書こう。

- ・ 人力や牛馬に頼る
- ・ 明治期まではほぼ全てが木製で、鉄は必要最低限度
- ・ 第二次世界大戦後に、急速に機械化が進むまで、牛馬などの生き物と共存



など

※現代に生きる技術

コンバインの中には足踏み脱穀機と同様のものが仕込まれており、脱穀までできる。コンバインの解剖図などを参照のこと